

史学概論Ⅱ

科目ナンバリング HSG-202
必修 2単位

柿沼 陽平

1. 授業の概要(ねらい)

歴史学とはどのような学問か。大学で歴史学を学ぶとはどういうことか。私たちはいかなる方法によって歴史を知りうるのか。過去と歴史は同じものだろうか。この授業では、こういった問いを根源の根源から考えてゆく。そのうえで、たんに、歴史を「覚える」のではなく、歴史をみずから「調べる・考える」とはどういうことかを

2. 授業の到達目標

- ・歴史学を学ぶ者にとって必須の哲学的素養を身につける。
- ・歴史学の歴史を概観する。
- ・史学科の学生として自ら歴史学を研究することができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点(毎回の授業にどれほど熱心に取り組んでいるか、積極的に発言をしているかをみる)
- ・レポート

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 歴史学はほんとうに他者を表象できるのか①:デカルトのコギトを中心に
- 【第3回】 歴史学はほんとうに他者を表象できるのか②:「攻殻機動隊」「エヴァンゲリオン」「マトリックス」を例に
- 【第4回】 歴史学はほんとうに他者を表象できるのか③:ソシユール言語学と言語論的転回
- 【第5回】 歴史学はほんとうに他者を表象できるのか④:証言と写真(南京事件とアウシュビッツを例に)
- 【第6回】 歴史学はほんとうに他者を表象できるのか⑤:歴史修正主義をめぐる論争
- 【第7回】 歴史学はほんとうに他者を表象できるのか⑥:責任と倫理の所在を考える(レヴィナスとデリダを例に)
- 【第8回】 歴史学と権力①:ミッシェル・フーコーの歴史学
- 【第9回】 歴史学と権力②:フェミニズム史学
- 【第10回】 時代区分論争①
- 【第11回】 時代区分論争②
- 【第12回】 近代化論をこえて
- 【第13回】 国民国家史観から世界史へ
- 【第14回】 新しい歴史学への道——グローバルヒストリー・ピックヒストリー・ディープヒストリー
- 【第15回】 まとめ